



恩納村長  
長浜 善巳

村民の皆様、明けましておめでとうございます。

村民の皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、村政発展のために、温かいご支援ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。また、昨年の村長選挙におきましては、無投票での再選となり2期目の村政を担わせていただくことになりました。その責任の重さを改めて実感するとともに、皆様から寄せられました期待と信頼にお応えするべく、恩納村の更なる発展のために全力で邁進してまいります。

さて、昨年を振り返りますと、ここ数年と同様に異常気象による記録的な豪雨や台風など、全国各地で大規模な

自然災害が頻発するなか、改めて災害に強い村づくりの推進の必要性を強く感じているところです。

そんな中、昨年10月31日の未明に発生した火災により、琉球王國文化を象徴する首里城が焼失する甚大な被害が

でました。貴重な沖縄の歴史・文化・観光の拠点となる首里城の火災のニュースは国内外、さらには海外にも

大きく報道され、大きな衝撃を受けるとともに、県民の誇りである首里城の損壊に多くの方が悲しみ、心痛めていることと思いますが、一日も早い復旧と復興を心から祈っております。

昨年は、「平成」という一つの歴史

が幕を閉じ、新元号「令和元年」の新しい時代が幕を開けました。本村でも、次代を担う子ども達に良好な教育環境を提供し、新しい時代にふさわしい人材育成を図るため、令和2年4月1日から村内公立5中学校を1校に統合し

ます。最新の充実した施設や設備と豊かな自然、理想的な教育環境の中での

これまで歴史と伝統ある各学校で学んだことを誇りに、新しい環境のもとで勉強と部活動を両立させながら、新たな仲間とともに伝統、歴史を築き上げていくことが期待されます。

そして、沖縄観光で有名な景勝地「万座毛」ですが、近年、観光客の増加で渋滞、施設の老朽化が懸念されており、駐車場不足はじめ、周辺道路の渋滞、施設の老朽化が懸念されておりましたが、今年、特産品店やレストラン、展望台を兼ね備えた施設として生まれ変わります。万座毛を整備することで、観光振興を地域経済の好循環を図り、村民の雇用、所得の向上を目指してまいります。

このように、今年は恩納村の将来を見据えつつ、より効率的な行政運営に努め、村民の笑顔がひろがる、元気で活力あるむらづくりの実現に向け着実に歩んでまいる所存であります。

結びにあたり、今年も健康で幸せ多い素晴らしい年でありますことを祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。